

件名：

令和8年度子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）における委員会等運営補助業務

番号	質問対象書類	質問対象項目	質問内容	回答
1	仕様書	仕様書 P.1 5.（2）（ア）委員会における業務	Webexの使用において、想定されている機能はWebex MeetingとWebex Webinarsのどちらでしょうか。	Webex Meetingです。
2	仕様書	仕様書 P.3 5.（2）（イ）議論の要約作業	要約文書の作成は「倫理問題検討委員会」及び「参加者コミュニケーション専門家委員会」の終了後、都度作成し提出するのでしょうか。	都度ではなく、契約期間中に開催された複数回の委員会の内容をまとめて要約するものです。従って、最終的なご提出は契約期間中の該当委員会が全て終了した後から契約期間満了までの間となります。
3	その他	別紙1	昨年度の委員会の開催数は何件でしょうか。	R6年度の実績は、web開催22回、対面開催11回、計33回です。 R7年度の実績（見込み）は、web開催17回、対面開催14回、計31回です。
4	仕様書	（2）委員会の運営補助業務 （ア）委員会における業務	各委員会の開催時期は、1年間である程度すでに決まっているものでしょうか。	未定ですが、例年、月に2～3回程度の頻度で開催しています。
5	仕様書	（2）委員会の運営補助業務 （ア）委員会における業務	東京での対面開催において、当日の会場設営・撤収等は、NIES担当者の指示に従い行う。と記載があります。WEB配信がメイン業務と認識しておりますが、WEB配信の設営と撤収の対応以外で、その他どのような対応事項が発生しますでしょうか。	貸会議室のチェックイン及びチェックアウトや委員等の席札の準備のほか、貸会議室に付随する机・椅子・プロジェクターや大型モニター等の映像機器・WEBカメラ・マイク等音響機器の配置調整や設定動作確認（WEB配信への映像及び音声取り込みを含む）を想定しています。
6	仕様書	（2）委員会の運営補助業務 （ア）委員会における業務	東京での対面開催は、WEB配信のみの対応で、会議の進行や参加者への謝金の支払いなどの対応は必要ない認識でよろしいでしょうか。	会議の進行や参加者への謝金の支払いなどの対応は必要ありません。一方で、対面開催の際は、WEB配信画面上で共有する会議資料一式のページ送りを請負者にて実施いただきます。なお、WEBのみ開催の場合は、資料のページ送りはNIESにて実施します。
7	仕様書	（2）委員会の運営補助業務 （ア）委員会における業務	WEBのみの会議出席について、請負者は1名程度とありますが、請負者の業務は定刻になっても参集しない委員への連絡、質疑のやり取りを議事要旨にまとめる業務以外に行うことはございますでしょうか。	WEBのみ会議に出席いただく際の請負者の業務は、ご認識のとおり定刻になっても参集しない委員への連絡と質疑のやり取りを議事要旨にまとめる業務です。会議の進行やWEB配信画面上で共有する会議資料一式のページ送りはNIESにて実施します。
8	仕様書	（2）委員会の運営補助業務 （ア）委員会における業務	WEBのみの会議出席について、請負者は請負者の事務所での参加でも差し支えないでしょうか。	差し支えございません。ただし、情報セキュリティの観点から、公共の場など第三者による盗み見が懸念される場所での参加は禁止します。